

「子どもはあとから」、「いくつになっても妊娠できる」と思っている人は多いと思いますが、35歳を過ぎると子どもを授かる確率が下がってくるだけでなく、母親の体の危険も増えてきます。

なかなか子どもを授からない時は、不妊治療という方法がありますが、不妊治療には「一般不妊治療」と「特定不妊治療」があり、沖縄県では「特定不妊治療」に要した費用の一部を助成する事業を行っています。

### 特定不妊治療支援制度とは

特定不妊治療とは顕微授精又は体外受精のことを言います。医療保険の適用外となっていることから、なかなか治療に踏み切れない方も少なくありません。

**平成27年度までの大まかな制度の内容**  
沖縄県では、1回の治療に要した経費について**上限15万円**(一部治療方法については上限7万5千円)まで助成を行っており、年度内に2回まで申請できます(初回年度は3回)。

**対象者**  
法律上の婚姻をしている夫婦で、次のことにあてはまる方

- 1 特定不妊治療が必要だと医師に認められ、治療を受けた方
- 2 夫婦のどちらかが、沖縄県内に住んでいること
- 3 夫婦の所得の合計が730万円未満であること
- 4 県が指定した医療機関で治療を終了した方



平成28年4月1日から新しい制度となり、**43歳以上の方は助成を受けることができなくなります。**  
※詳しい制度内容については下記の方法でご確認ください。  
● 県健康長寿課のホームページ ▶ [沖縄県 特定不妊](#) 検索  
● 県健康長寿課 ▶ 098-866-2209

不妊に関するご相談・お問い合わせは、下記までお気軽にご連絡ください。相談に関する秘密は厳守します。

相談窓口 | 沖縄県不妊専門相談センター 電話: 098-888-1176

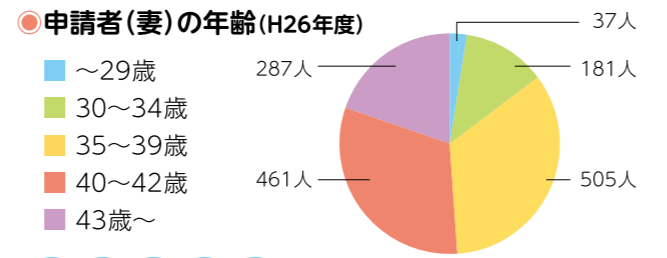
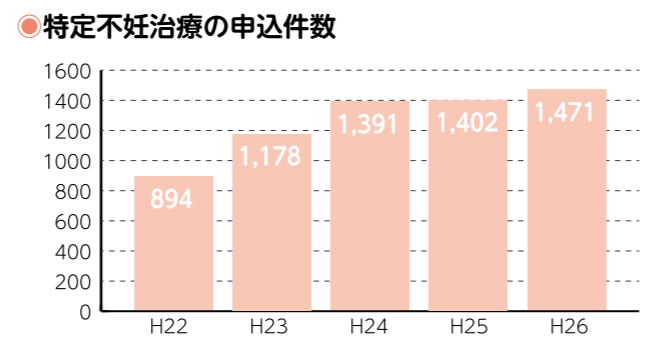
広告

長春世界一を復活させよう

# チャ〜かんじゅう 沖縄!

vol.18

特定不妊治療に関する支援制度が平成28年度から変わります!!



**担当者より**  
沖縄県では、毎年申請者が増えてきており、40歳以上の方が全体の50%を超えています。来年度からは、制度改正により年齢制限がありますので、早めの申請をおすすめしております。

## 10月は「沖縄都市緑化月間」です!

沖縄県では、10月を「沖縄都市緑化月間」として定め、国・県・市町村、関係団体、県民全体で緑豊かな街づくりを進めています。緑化に取り組む各種イベントを開催しますのでぜひご参加ください。

### 沖縄都市緑化祭in北谷町

記念植樹や、各種表彰式、オープニングアトラクションや、ランの栽培講習会、花・苗木の無料配布会などが行われます。

**開催日** 平成27年10月2日(金)

**記念植樹** 13:15～14:00(北谷町役場敷地内)  
14:30～16:20(ちやたんニライセンター カナイホール)

**式典**

**亜熱帯緑化事例発表会表彰式**  
緑化技術の研究や取り組みを紹介する事例発表会の優秀者を表彰します。今年は9月18日に発表会を開催し、沖縄の温暖な気候でのユニークな取り組みが数多く紹介されました。(※主催：沖縄美ら島財団)

**琉球みどりの文化賞表彰式**  
花と緑にあふれる街づくりに関して、自ら取り組んだこと、自然を守るために必要だと感じることなど、小学生の部、中・高校生の部、一般の部に分けて作文を募集しました。式典の中で入賞者を表彰します。(※主催：琉球新報社)



昨年の式典の様子



苗木の無料配布



亜熱帯緑化事例発表

### 都市公園等愛護活動

地域で花や緑を増やしていくことを目的に、毎年多くの地元住民や関係団体が参加し県営公園などで花々の植栽、公園内の清掃活動を行います。苗木の無料配布も行っています(一部施設を除く)。

● 主な開催場所

名護中央公園(名護城公園)、沖縄県総合運動公園、中城公園、浦添大公園、首里城公園、奥武山公園、海軍壕公園、平和祈念公園、バナナ公園 など

※開催日時は場所によって異なりますので、県都市計画・モノレール課のホームページや下記お問い合わせ先までご確認ください。



海軍壕公園で開催された植栽活動の様子

お問い合わせ | 県都市計画・モノレール課 電話:098-866-2408 FAX:098-866-5938